

第1期京丹波町こども・若者みらい計画の策定について（答申）

令和6年10月2日付けて諮問を受けました「第1期京丹波町こども計画の策定に関する事」について、以下のとおり答申します。

京丹波町をこどもや若者たちが生き生きと幸せに暮らせる「こどもまんなか」なまちにするために、京丹波町子ども・子育て審議会ではこのたび、こども基本法に基づくこども計画として「第1期京丹波町こども・若者みらい計画（案）」を新しく取りまとめました。策定にあたっては、令和6年度と令和7年度の2か年にわたって会議を7回開催し、委員一人ひとりが京丹波町のこどもや若者たちの将来を見据え、熱意を持って議論を重ねていただき、結実したのがこの計画案です。

計画案では、京丹波町が目指す将来像を「こどもの声が聞こえるまち」としています。京丹波町がこどもの元気な声の響くまちであり続けるために、この計画では「声」をキーワードに、「こどもの声が“ひびく”まち」、「こどもの声が“とどく”まち」、「こどもの声が“ふえる”まち」、「こどもに声を“かける”まち」の4つの目標を定めています。

京丹波町がいつまでもこどもの声と笑顔であふれるまちであるために、行政と町民、家庭や地域、関係団体や企業など、さまざまな主体が手を取り合い、協働して計画の推進に取り組んでいくことが重要です。

つきましては畠中町長の強い思いとリーダーシップのもと、この「第1期京丹波町こども・若者みらい計画（案）」と昨年度に策定された「第3期京丹波町子ども・子育て支援事業計画」をこども、若者及び子育て支援施策を力強く、切れ目なく推進するための両輪として、「教育と子育てのまちづくり」に邁進いただくことを切に願い、答申といたします。

令和8年3月24日

京丹波町長 畠 中 源 一 様

京丹波町子ども・子育て審議会

会 長 明 田 良 子